



第 37 回春期 ジュニア大使友情使節団

～在パラオ日本国大使館を訪問～

IFA は、第 37 回春期ジュニア大使友情使節団パラオ班を、2025 年 3 月 27 日から 4 月 2 日まで 7 日間の日程で実施した。同使節団では、プログラムの一つの要として在外公館を訪問している。今回、日本の外交の最前線である在外公館で、さまざまな外交活動に携わっている折笠弘維（おりかさひろゆき）特命全権大使より直接お話を伺った。海外に関心を持ち国際社会において何等かの役割を果たしたいと願うジュニア大使たちにとってはきわめて有意義であり、また、今後の本人の将来に与える影響も大きい。

今回のパラオ班団長である西木春文 IFA 事業部長による、3 月 28 日の表敬訪問の報告をここに紹介する。

◇

大使館では外でセキュリティチェックを受けて入室し、会議室で折笠大使と面会。早速、4 点の資料を基にお話

をしてくださった。

- ①パラオ訪問一行への一言アドバイス
- ②パラオの概観～第 37 回参加ジュニア大使友情使節団パラオ班の皆様、パラオへようこそ～
- ③天皇誕生日のイベントについて（英語資料）
- ④プレスツアーでの問題提起（ディスカッション英語資料）

◇

団員は緊張した様子で、大使からの質問に積極的に発言できない中、団長からの励ましで、「アメリカと日本の関係が悪くなったら、日本とパラオの関係はどうなるか」、「日本語はたくさんパラオに残っているが、他の国の言語はどうなのか」等、質問があった。



写真撮影後、車で大使公邸へ移動。大使館と公邸はそれぞれ戸建てで、公邸は緑色の瓦屋根の立派な家屋、90 年代に建設されたものとのこと。中に入ると折笠大使夫人が笑顔で一行を出迎えてくださった。ランチを用意してくださり、鶴の折り紙に団員一人ひとりの名前が書かれた座席カードが置か

れ、手作りの刺繍のお花がテーブルに飾られていた。団員の質問に答えたり、将来の夢は何かなど質問をしてくださる中、食事が進み、最後は手作りのチョコレートケーキをいただいた。

折笠大使からは、「パラオの人は英語が第 1 言語になりつつあるが、パラオ語をととても大切にしており、国会等儀式では全てパラオ語。言葉は文化であるから、とても大切なことだと思う」とお話をいただいた。さらに、「勉強を頑張れ」という言葉はあまり好きではないそうで、大切なのは「何を」頑張るか、ということ。将来の自分がやりたい好きなことのために、可能性を広げ、自分の引き出しを一つでも多く増やしていくことが大事、と教えていただいた。

「人生は、1 日の小さな選択の結果。例えば、スプーンをどちらの手で取るか、どの順序で取るかといった、小さな選択をも 1 日に何十回も繰り返している。どんな道があるのか、どんな選択肢があるのか、まずは知らなければ選ぶこともできない。海外に行く人が減って欲しい」といったお話しもいただいた。団員一人ひとりにとり、貴重な一時を過ごさせていただいた。

◇

今回、参加した小学 6 年生から中学 3 年生の若き団員が、この貴重な経験を糧にさらに海外に目を向けて、今後、大きく成長することを願う。

世界万華鏡

日本で体験してみたいこと 日本語・スピーチコンテスト参加 リサ・スメタニク（ウクライナ）

はじめまして。私は、リサ・スメタニクと申します。トゥンバ高校の 2 年生で 17 歳です。今日は「日本で体験してみたいこと」について話します。

私はウクライナ人です。ウクライナではイワノフランクウスクという町に住んでいました。カルパチア山脈の近くの美しい町です。2022 年 3 月、戦争が始まってすぐに、私は母とスウェーデンにきました。そして 2023 年から日本語を勉強し始めました。

私は子供の頃から、日本の文化に興味を持っていました。6 歳のとき、Youtube で日本の箏と三味線の音楽に出会い感動しました。ウクライナにも伝統的な民族楽器があり、民謡は人々に愛されています。伝統を大切にしている心は日本とウクライナには共通していると思います。

また、ウクライナのキーウには京都パークがあり、日本庭園や鳥居があります。ウジゴロッドには桜通りがあり、春には桜フェストがあります。どちらも行ったことがありませんが、ウクライナでは多くの人が日本の文化に関心を持ち、日本のエキゾチックな風景にあこがれ、アニメやマンガも人気がありました。そのため、私も将来、

いつか日本に行くことを目指しはじめました。

日本の自然や景色の多様性は本当に素晴らしいと思います。たとえば、スウェーデンのように寒い北海道からトロピカルな沖縄。そして、にぎやかでモダンな東京と、平和で伝統的な京都。一つの国でもこれほど異なる魅力をお互に感じています。そして調和とバランスがとれています。

私は、日本で訪れたい場所がいくつかあります。まずは奈良公園。鹿に会っておせんべいをあげたいです。次に猫島。島のかわいい猫といっしょに海を眺めながら、ひなたぼっこ。のどかでいいですね。そして新幹線に乗って、富士山が見えたら、きっと幸せな気分になるでしょう。

日本食は美味しくて体に良いことで有名です。ウクライナでもスウェーデンでも、お寿司や日本食は人気です。両国の食文化は大きく異なるので、日本に行ったら、おいしいみそ汁を飲んで、納豆が好きかどうかを試してみたいです。さまざまな料理を試して、コンビニや色々なカフェにも行きたいです。お茶が大好きですから、日本ではぜひ茶道を体験してみます。

もし 1 年くらい日本に滞在できたら、四季折々の日本を満喫できるでしょう。ウクライナでも四季の変化を楽しむ文化があります。ですから、私にとっては、日本で冬に温泉に行くこと、春に花見をすること、夏祭りの花火を見ること、秋の紅葉を楽しむことは特別に感じます。

日本人もウクライナ人も一生懸命働きます。日本ではその疲れをいやすために、旅館にとまって、温泉に入り、心と体をリラックスさせます。カラオケで日本の歌謡曲を歌って楽しく過ごすことは平和そのものです。いつまでも忘れられない思い出になるでしょう。

私の将来の目標はウクライナ語、スウェーデン語、英語、日本語など多言語の通訳の仕事です。高校を卒業したら、日本語を上達させるために日本に行きたいです。日本で新しい友達も作りたいです。この目標と夢を達成するために、全力で頑張ります。

(2025 年 2 月 15 日の入賞スピーチ)

令和 7 年 4 月 17 日発行
一般社団法人 国際フレンドシップ協会
〒106-0041 東京都港区麻布台 3-4-12
麻布台ロイヤルプラザ 703
発行責任者：及川 伊佐子
編集：事務局 03(3582)3021
印刷：ダイト印刷株式会社